

中小企業と技術の出会いの場

参加費無料 一部事前予約制

TIRI クロスミーティング2018

日時 7/12(木) 10:00▶17:00 ・ 13(金) 10:00▶17:00

会場 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 本部(江東区青海2-4-10)

都産技研や連携機関などの技術シーズを発表し、中小企業との技術マッチングを促進する「TIRI クロスミーティング2018」を開催します。技術開発や製品開発のヒントとなる幅広い分野の口頭発表に加え、成長産業の技術動向や取組事例を解説する特別プログラムを行います。関連設備の見学会も開催します。

■ 口頭発表

70件を超える幅広い分野の技術シーズの口頭発表を実施。発表者と直接意見交換が可能です。

発表技術分野

- 環境・エネルギー ● 生活技術・ヘルスケア ● 機能性材料
- 安全・安心 ● IoT ● ロボット ● ものづくり要素技術

■ 特別プログラム

7月12日(木)

基調講演 10:00~11:30

競争しない競争戦略

～競争しないで利益率を上げる方法～

早稲田大学ビジネススクール 教授 山田 英夫 氏

IoT 特別発表 13:00~13:40

0円でつながるクラウド見知りネットワーク

月井精密株式会社 代表取締役 名取 磨一 氏

IoT 特別発表 13:40~14:20

ウェアラブルIoTによる

高齢者の自立支援サービスの現状と今後

株式会社Moff 代表取締役 高萩 昭範 氏

IoT パネルディスカッション 14:30~15:30

中小・ベンチャー企業目線のIoT導入

～データ取得・可視化で他社と差をつける～

(モデレーター)

名古屋商科大学ビジネススクール 教授 澤谷 由里子 氏

(パネリスト)

月井精密株式会社 代表取締役 名取 磨一 氏

株式会社Moff 代表取締役 高萩 昭範 氏

東京都立産業技術研究センタープロジェクト事業推進部担当部長 櫻井 政考

7月13日(金)

機能性材料 基調講演 10:00~11:30

日本発！石から生まれた

紙・プラスチックの代替となる新素材とは

株式会社TBM 開発本部エンジニア 平池 佑介 氏

生活技術・ヘルスケア 特別発表 13:00~13:40

睡眠で企業の健康経営を支援する

株式会社O:(オー) Founder/CEO 谷本 潤哉 氏

7月12日(木)

基調講演 10:00～11:30

5階 講堂 定員200名

競争しない競争戦略～競争しないで利益率を上げる方法～

市場が成熟してくると、同業内で薄利を奪い合う同質的競争が中心になります。そのような競争から脱却し、高い利益率を確保するにはどうしたらよいでしょうか。それには、競争しない状況を作り出すことです。本講演では、「競争しない競争戦略」の2つの方法について、日本企業の事例を豊富に使いながら、お話し致します。



山田 英夫氏
早稲田大学ビジネススクール 教授

特別発表 IoT 13:00～13:40

中2階 東京イノベーションハブ 定員80名

0円でつながるクラウド見積りネットワーク

見積業務とは何なのか。IoT活用による企業間連携のメリットとは。IoTを活用した中小製造業の全体最適化でどう変わるのか。20歳で先代から事業承継した際、「見積業務」についての煩雑さや、値頃感が理解できず苦労した経験から、見積りクラウドネットワーク「TerminalQ」を開発。この経験を軸に、中小企業でも取り組める、IoTの事例についてお話しします。



名取 磨一氏
月井精密株式会社 代表取締役
Natori High Precision Thailand CO.,LTD. CEO
株式会社 NVT 代表取締役

特別発表 IoT 13:40～14:20

中2階 東京イノベーションハブ 定員80名

ウェアブルIoTによる高齢者の自立支援サービスの現状と今後

医療・介護では高まる自立支援、データに基づく科学的介護のニーズが非常に高まってきています。自立支援と科学的介護への取り組みについての現場での取り組みの実態と課題、そしてウェアブルIoTを活用したソリューションIoT機能訓練プログラム「モフトレ」とIoTリハビリ見える化サービス「モブ測」や、実際の介護施設や病院での活用事例やデータ活用方法についてご紹介いたします。



高萩 昭範氏
株式会社 Moff 代表取締役

パネルディスカッション IoT 14:30～15:30

中2階 東京イノベーションハブ 定員80名

中小・ベンチャー企業目線のIoT導入～データ取得と可視化で他社と差をつける～

多くの中小企業が「IoT」による環境整備に関心があるものの、「莫大な投資」や「分かりづらさ」から普及が進んでいません。本パネルディスカッションでは、そうした課題を解決しながら、IoTを取り入れ、データ取得と可視化で大きく前進した企業を事例に、中小企業が導入しやすい「IoT」について考えていきます。

パネリスト
モデレーター



名取 磨一氏
月井精密株式会社 代表取締役
高萩 昭範氏
株式会社 Moff 代表取締役
櫻井 政考
東京都立産業技術研究センター
プロジェクト事業推進部担当部長

澤谷 由里子氏

名古屋商科大学大学院マネジメント研究科
ビジネススクール 教授
Center for Entrepreneurship, Director

7月13日(金)

基調講演 機能性材料 10:00～11:30

5階 講堂 定員200名

日本発！石から生まれた紙・プラスチックの代替となる新素材とは

LIMEX(ライメックス)は石灰石を主成分にした紙・プラスチックの代替となる「エコロジーとエコノミーを両立」する日本発の革新的新素材で、グローバルな水資源問題、石油資源問題に素材の力でアプローチします。グローバル課題に対するソリューションとしてのマテリアル開発や、スタートアップ×大企業のイノベーションについて紹介します。



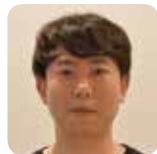
平池 佑介氏
株式会社 TBM 開発本部エンジニア

特別発表 生活技術・ヘルスケア 13:00～13:40

5階 会議室531 定員100名

睡眠で企業の健康経営を支援する

【はじめての健康経営/働き方改革は、睡眠がオススメです】日本では世界で最も睡眠時間が短い国で、2000万人以上の国民が不眠を抱えており、生産性の低下やメンタルヘルス不調の主な要因です。O:は睡眠医学を基にした睡眠コーチングアプリを開発、従業員の睡眠状況から組織の生産性を分析、改善まで実施する分析システム「O:SLEEP」を人事向けに展開し、「休退職者の削減」「組織の生産性向上」を支援しています。



谷本 潤哉氏
株式会社 O:(オー) Founder/CEO

都産技研の重点研究分野や注力分野ごとにセッションを構成して、口頭発表を行います。口頭発表は事前予約の必要はありませんので、当日会場にお越しください。

環境・エネルギー

12日

大都市特有の課題である環境浄化に関する技術開発に取り組むとともに、再生可能エネルギーなどの研究開発により、新エネルギー創出に貢献することを目指しています。環境浄化技術や環境対策技術、エネルギー関連技術などの研究をご紹介します。

発表タイトル

- RoHS 指令に対応したフタル酸エステル類の分析方法
- ダイヤモンドコーテッド金具によるステンレス鋼板のドライしごき加工とトライボ特性
- 促進耐候性試験における熱処理木材の表層劣化とその防止

機能性材料

12日

13日

幅広い産業への波及効果が期待される高機能性材料の開発に取り組み、航空機産業や素材産業などの成長産業に対する中小企業の参入を支援しています。近年著しい発展を遂げたナノテクノロジーを応用した研究などをご紹介します。

発表タイトル

- 酸化チタン系インジウムフリー透明導電膜の開発
- AM材料として応用可能な木粉を基材とした複合材料の開発

IoT

12日

平成29年度からスタートした「中小企業のIoT化支援事業」について、事業概要や今後の展開をご紹介します。

発表タイトル

- 「中小企業のIoT化支援事業」紹介

ものづくり要素技術

12日

13日

産業の維持発展に不可欠な要素技術であり、重点4分野を下支えする「ものづくり要素技術」の研究に取り組んでいます。企業との共同研究やAM(3Dプリンター)に関連する技術など、幅広い分野のものづくりを支える技術をご紹介します。

発表タイトル

- AMによる造形品の表面性状評価
- レーザーアブレーションICP-MSによる樹脂材料中の有害元素濃度の定量
- プリント技術を用いた耐衝撃性CFRPの開発

生活技術・ヘルスケア

13日

感性工学などに基づいた生活技術を応用して、サービス産業への支援を行うとともに、健康・医療・福祉機器産業に対して、先端技術を活用した研究開発に取り組んでいます。生理計測に基づくものづくりや生体高分子の特性を活かした医療機器基材などの研究をご紹介します。

発表タイトル

- ハプティクス型触覚デバイスの開発
- 行動観察を用いた生活製品に対する外国人の潜在ニーズ抽出研究
- 生体高分子の成型法を革新する配向コーラゲン線維ゲルの連続吐出法

安全・安心

13日

システム安全に基づいた高信頼性技術の開発を行い、製品の安全性向上を支援しています。安全で信頼性の高い試験などに関連する研究をご紹介します。

発表タイトル

- ラグスクリュア接合の締付け破壊性状と締付けトルク
- 広角カメラ映像からの人物姿勢認識手法
- ドローンによる豪雨災害集水シミュレーションと避難マップへの活用

ロボット

13日

ロボットの開発経験が少ない中小企業の参入を目指して開発を進めているロボットベース「T型ロボットベース」(移動プラットフォーム)や、事業化の障壁となる安全認証技術などをご紹介します。

発表タイトル

- 自律移動案内ロボットの試験システムの構築
- T型ロボットベースの安定性向上とその解析
- 多言語案内ロボットの施設利用と実証実験結果について

成果展示・意見交換

各セッションは口頭発表2～5件で構成されています。今年度はお客様のご要望にお応えして、発表時間を長くしたほか、口頭発表終了後は各会場に別室を設け、ポスターパネルや展示品の前で発表者とじっくり意見交換や質問ができます。



5階 講堂	5階 会議室531A	中2階 東京イノベーションハブ	2階 研修室241		2階 研修室243	2階 研修室244	2階 会議室233
10:00～11:30 基調講演 「競争しない競争戦略」 ～競争しないで利益率を上げる方法～ 早稲田大学ビジネススクール 教授 山田 英夫氏			10:00～11:30				
説明会 東京都中小企業振興公社助成事業紹介			11:30～11:50				
			11:50～12:40				
			12:40～13:00			ICP-MSによる生体用金属材料からの溶出元素の評価 城南支所 湯川 泰之	
	ものづくり要素技術①(AM)	セラミックAM(セラミック3Dプリンティング)の商用運用に向けた基礎技術の確立 株式会社アスペクト 青山 英史	13:00～13:20	環境エネルギー①	RoHS指令に対応したフタル酸エステル類の分析方法 環境技術グループ 平井 和彦	ものづくり要素技術③(MS)	機能性材料①
		AMによる造形品の表面性状評価 城南支所 古杉 美幸	13:20～13:40		止まり穴を有する六価クロム製品に対応した新規六価クロム抽出法の提案 城東支所 安藤 恵理		
		高速造形プロセスによる金属AMの機械的性質 3Dものづくりセクター 大久保 智	13:40～14:00		めっき用薬剤が亜鉛排水処理に与える影響 環境技術グループ 森久保 諭		
		アウトラインパスを組み合わせた金属AM造形品の表面研磨 3Dものづくりセクター 藤巻 研吾	14:00～14:20		ダイヤモンドコーテッド金具によるステンレス鋼板のドライしごき加工とトライボ特性 城南支所 玉置 賢次		
		成果展示・意見交換	14:20～14:40		成果展示・意見交換		
		休憩(10分)	14:20～14:40			成果展示・意見交換	成果展示・意見交換
		14:30～15:30 IoTパネルディスカッション 「中小・ベンチャー企業目線のIoT導入」 名古屋商科大学ビジネススクール 教授 澤谷 由里子氏 月井精密株式会社 代表取締役 名取 磨一氏 株式会社Moff 代表取締役 高萩 昭範氏 東京都立産業技術研究センター 櫻井 政考	14:40～15:00		14:45～15:15 見学会 めっきコース 集合場所:研修室241		14:45～15:15 見学会 ものづくり(デザイン)コース 集合場所:会議室233
		14:45～15:15 見学会 金属AM設備見学と意見交換 集合場所:5階ホワイエ	15:00～15:20				
			15:20～15:40	環境エネルギー②	メタクリル樹脂用ジクロロメタン代替接着溶剤の検討 表面・化学技術グループ 安田 健	ものづくり要素技術④(計測)	機能性材料②
			15:40～16:00		複層ガラス再資源化技術の開発 先端材料開発セクター 小林 宏輝		
			16:00～16:20		促進耐候性試験における熱処理木材の表面劣化とその防止 表面・化学技術グループ 村井 まどか		
			16:20～16:40		成果展示・意見交換		

5階 講堂	5階 会議室531	中2階 東京イノベーションハブ	2階 研修室241	2階 研修室243	2階 研修室244	2階 会議室233						
10:00～11:30 機能性材料 基調講演 「日本発!石から生まれた 紙・プラスチックの代替となる新素材とは」 株式会社TBM 開発本部エンジニア 平池 佑介氏			10:00～11:00									
			11:00～11:20									
説明会 東京都中小企業振興公社助成事業紹介		ロボット①	T型ロボットベースの安定性向上とその解析 ロボット開発セクター 坂下 和広				11:20～11:40					
			バッテリー内蔵型ロボットでの充電方式の 調査・検討 プロジェクト事業化推進室 佐藤 研				11:40～12:00					
			成果展示・意見交換				12:00～12:20					
			12:20～13:00									
生活技術・ヘルスケア①	13:00～13:40 特別発表 「睡眠で企業の健康経営を支援する」 株式会社O:(オー) Founder/CEO 谷本 潤哉氏		ロボット②	モジュール化とシステム化に基づく サービスロボットの開発 公立大学法人首都大学東京 久保田 直行	13:00～13:20	安全・安心①	ナットを用いないねじ締付け時の 座面摩擦係数測定方法の検討 城東支所 櫻庭 健一郎	安全・安心②	ドローンによる豪雨災害集水シミュ レーションと避難マップへの活用 デザイン技術グループ 森 豊史	もろくろ製糸技術(COFRP)⑥	CFRPによるロボット部品の試作 複合素材開発セクター 谷口 昌平	機能性材料③
		自律移動案内ロボットの試験システムの構築 プロジェクト事業化推進室 村上 真之		13:20～13:40	ラグスクリュー接合の締付け破壊 性状と締付けトルク 実証試験セクター 松原 独歩		小型PM モータ用ドライバの 試作事例 電気電子技術グループ 西澤 裕輔		プリント技術を用いた耐衝撃性CFRP の開発 複合素材開発セクター 武田 浩司		微細カーボンナイトライド系光触媒 の開発 先端材料開発セクター 染川 正一	
		ハプティクス型触覚デバイスの開発 生活技術開発セクター 島田 茂伸		13:40～14:00	超音波疲労試験の最適試験片形状の 提案 実証試験セクター 新垣 翔		レーザ焼結による造形物の 電気的絶縁性能評価 電気電子技術グループ 新井 宏章		CFRP 製緩み止めナットの開発 株式会社ハードロック工業 小林 孝明		線維組織の配向評価法のための偏光 計測システムの開発 光音技術グループ 海老澤 瑞枝	
		行動観察を用いた生活製品に対する外国人の 潜在ニーズ抽出研究 デザイン技術グループ 橋本 みゆき		14:00～14:20	成果展示・意見交換		ノッチフィルタとスイッチ回路を用いた 放射ノイズ発生源探査手法の提案 電子・機械グループ 佐野 宏靖		炭素繊維強化プラスチック適用に 向けた成形技術 学校法人明星大学 小山 昌志		太陽による熱の年間制御に向けた 選択的反射材の開発 光音技術グループ 磯田 和貴	
	成果展示・意見交換				成果展示・意見交換		成果展示・意見交換					
	14:30～15:20 見学会 東京ロボット産業支援プラザコース 集合場所:中2階 イノベーションハブ	14:20～14:40			成果展示・意見交換	成果展示・意見交換	成果展示・意見交換					
			14:40～15:00	14:45～15:15 見学会 情報技術コース 集合場所:研修室241				14:45～15:15 見学会 スクリーン印刷機コース 集合場所:会議室233				
			15:00～15:20									
	生活技術・ヘルスケア②	ロボット③	生体高分子の成型法を革新する配向 コラーゲン線維ゲルの連続吐出力 バイオ応用技術グループ 柚木 俊二	15:20～15:40	安全・安心③	安全・安心④	安全・安心⑦	機能性材料④	低分子有機薄膜太陽電池用の有機半導体 材料としてのポルフィリン錯体の創製 先端材料開発セクター 小汲 佳祐			
			自公転式攪拌技術を利用した組織培養 東京電機大学 村松 和明	15:40～16:00					より高機能なデジタル回路合成を 可能とする高位合成手法の開発 情報技術グループ 岡部 忠	生卵への電子線滅菌法の開発と 可食部に対する制動X線の評価 バイオ応用技術グループ 片岡 恵昭	東京染小紋型紙の微細加工 技術経営支援室 岡田 明子	電磁界ソフトを活用した誘電体材料 によるビーム幅制御の検討 電子・機械グループ 福田 純子
			背景騒音下で聴感される異音の 気になり度合評価に関する研究 光音技術グループ 宮入 徹	16:00～16:20					属性ベース暗号を利用した安全な ファイル共有方法の開発 情報技術グループ 大平 倫宏	国際標準指定色を用いた 識別しやすい色の研究 デザイン技術グループ 角坂 麗子	繊維製品評価のための標準白布の 仕上げ条件の適正化 複合素材開発セクター 小柴 多佳子	AM 材料として応用可能な米粉を 基材とした複合材料の開発 デザイン技術グループ 酒井 日出子
			成果展示・意見交換	16:20～16:40					成果展示・意見交換	成果展示・意見交換	成果展示・意見交換	成果展示・意見交換

口頭発表に関連した設備や製品開発や評価に役立つ施設をご覧くださいながら、職員が取り組み内容をご紹介します見学会を開催します。
事前予約の必要はありませんので、参加を希望の方は開始5分前に各コース集合場所にお集まりください。

7月12日(木)

金属AM設備見学と意見交換

ものづくり要素技術の口頭発表終了後に金属AM(3Dプリンター)を見学しながら、口頭発表に関する質疑応答・意見交換が可能です。



時 間 14:45～15:15
集合場所 5階ホワイエ
見学先 AMラボ

めっきコース

めっき技術や評価、排水処理対策など、めっきに関わる設備や技術、取り組みなどをご紹介します。

時 間 14:45～15:15
集合場所 研修室241
見学先 湿式表面処理室、環境化学分析室



ものづくり(デザイン)コース

販売促進につながる商品企画やデザイン、試作に利用できる設備や開発支援事例をご紹介します。

時 間 14:45～15:15
集合場所 会議室233
見学先 創作実験ギャラリー、アパレルデザイン室、デザイン出力室



7月13日(金)

スクリーン印刷機コース

印刷機を活用した機能部材や微粒子応用材料の開発に関わる新規導入設備などをご紹介します。

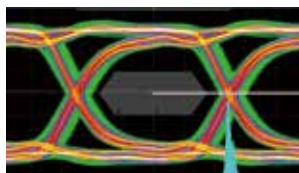


時 間 14:45～15:15
集合場所 会議室233
見学先 薄膜応用実験室

情報技術コース

近年、高速かつ高品質なデジタル通信技術が求められており、都産技研では高速シリアル通信規格に準拠した機器やケーブルに対し、電気的適合試験を実施しています。高速シリアル通信測定器を中心に、情報技術グループの設備などをご紹介します。

時 間 14:45～15:15
集合場所 研修室241
見学先 情報通信研究室



東京ロボット産業支援プラザコース

ロボットの開発から安全評価までを支援する拠点として整備した東京ロボット産業支援プラザをご紹介します。ロボットの安全性、耐久性に関する各種試験機のご紹介から、IoTに関する次世代高速通信評価システムなども見学できます。

時 間 14:30～15:20
集合場所 中2階 東京イノベーションハブ
見学先 傾斜路走行試験装置、衝突安全性試験機、複合環境振動試験機



アクセス

最寄り駅

ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前

「テレコムセンター」駅まで 新橋駅から18分、
豊洲駅から12分

りんかい線「東京テレポート」駅下車
無料送迎バス3分(徒歩15分)

「東京テレポート」駅まで 新宿駅から23分、
池袋駅から28分

〒135-0064
東京都江東区青海2-4-10
TEL:03-5530-2111(代表)

無料送迎バス

「東京テレポート駅」からは、無料の送迎バス(臨時便)をご利用いただけます。

バスの時刻表は特設ホームページでご確認ください。

※駅から本部までの送迎バスの所要時間は約3分です。
※バスの時刻や乗り場は変更となる場合があります。



の表示があるバスにお乗りください。

参加方法

事前予約が必要なプログラム

● 基調講演、特別発表、パネルディスカッション

TIRI クロスミーティング特設ホームページの専用フォームまたは裏表紙の参加申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。
お申し込みいただいた方には、事務局よりメール等で受講証をお送りいたしますので、当日印刷してお持ちください。

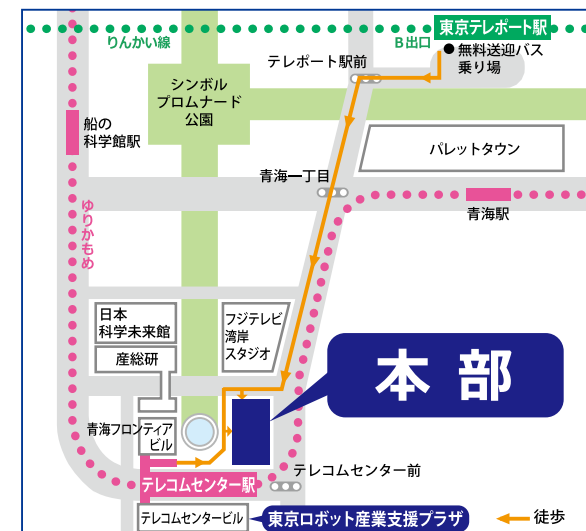
ホームページURL: <http://www.tosangiken-seika.jp/>
FAX: 03-5644-7228

定員に達していない場合は、予約のない方も当日で参加いただけますが、事前予約優先ですので、ご了承ください。

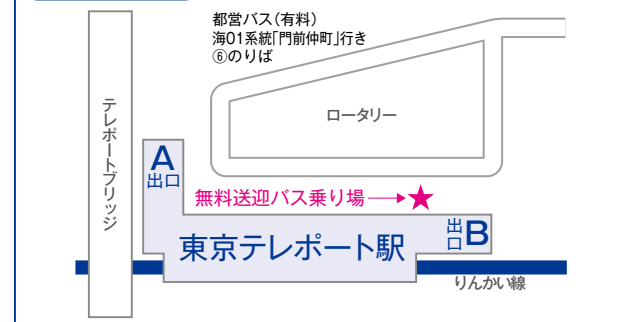
事前予約が不要なプログラム

● 口頭発表、見学会※

上記プログラムにのみご参加される場合は、事前予約は必要ありません。直接受付へお越しください。
※見学会に参加を希望される方は、開始5分前に各集合場所にお集りください。



バス乗り場



改札を出て右手に進み、**出口B**方面エスカレーターをお上がりください。ロータリーの出口B★付近に停車いたします。

お問い合わせ先

「TIRI クロスミーティング2018」運営事務局

TEL: 03-5644-7499 FAX: 03-5644-7228

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1

sangiken@media.nikkan.co.jp

<http://www.tosangiken-seika.jp/>



中小企業の大きな夢を実現するために Innovation

都産技研は、「環境・エネルギー」、「生活技術・ヘルスケア」、「機能性材料」、「安全・安心」を重点研究分野として、中小企業にご活用いただける技術シーズの創出に努めています。「3D ものづくりセクター」、「先端材料開発セクター」、「実証試験セクター」、「複合素材開発セクター」を中心とした開発型中小企業の支援や、中小企業の海外展開支援、ロボット産業の事業化支援を推進するほか、中小企業のIoT化支援、航空機産業や医療機器産業などの東京の成長産業支援、障害者スポーツの研究開発促進など、新たな取り組みを開始しています。

「中小企業こそがイノベーションを起こす」と確信し、都産技研はその大きな夢を実現するために、より一層支援を強化してまいります。



平成29年度の主な取り組み

ロボット産業活性化事業

平成30年4月で4年目に入ったロボット産業活性化事業は、サービスロボットの事業化を目指しています。都産技研が研究開発を進める移動機構や音声処理技術が使われたロボットが、商業施設でお客さまの案内や在庫管理を行ったり、美術館などで展示品の説明を行うなど、実証実験が進められています。平成30年度は、こうした実証実験をフォローするしくみをつくり、事業化に向けてさらなる支援を展開していく計画です。

TIRIクロスミーティング関連プログラム

7月12日(木)「IoT」

13:00~13:40 特別発表

「0円でつながるクラウド見張りネットワーク」

月井精密株式会社 代表取締役 名取 磨一氏

13:40~14:20 特別発表

「ウェアラブルIoTによる高齢者の自立支援サービスの現状と今後」

株式会社Moff 代表取締役 高萩 昭範氏

14:30~15:30 パネルディスカッション

「中小・ベンチャー企業目線のIoT導入～データ取得と可視化で他社と差をつける～」

モデレーター 名古屋商科大学大学院マネジメント研究科ビジネススクール教授 澤谷 由里子氏

7月13日(金)「ロボット」

口頭発表

東京ロボット産業支援プラザ見学会

中小企業のIoT化支援事業

IoTによる新しいビジネスモデルの創出を目指す「東京都IoT研究会」が発足し、160社・180名以上の方々にご参加いただいています。さらに、中小企業のIoT化を促進するため、IoTシステムの全体像を把握できる展示とテスト環境を提供するテストベッドの整備を進めるほか、人材育成プログラムの提供もスタートする予定です。また、平成30年度からは、新たにAIを加え、中小企業と共同でIoT関連製品の研究開発に取り組みます。

航空機産業参入支援事業

ASTMなどの国際規格に準拠した試験を行うことができる航空機産業支援室を平成29年度に開設しました。航空機産業への参入を目指す中小企業の「試作開発部門」として活用いただきたいと考えています。

障害者スポーツ研究開発推進事業

障害者スポーツの競技力向上や普及促進を図るため、都産技研の職員が実施する基礎研究と、中小企業との公募型共同研究事業が進行中です。公募型共同研究では、バドミントン用の車いすと、世界最速を目指すスポーツ用義足の開発を進めています。これらの成長産業支援を中心に、都産技研は引き続き東京のものづくりをサポートし続けます。

自前主義からの脱却で新たなイノベーションを！

都産技研では、平成30年度は、周囲の職員が取り組む内容や担当以外の事業分野にも興味を持ち、自分の幅を広げる「Curiosity」、ためらわずに挑戦する「Challenge」、技術革新・イノベーションを進める「Change」の3つのCをスローガンとして、職員への浸透を図っています。平成29年度に掲げた、活発に情報交換・情報共有を行う「Communication」、協力・連携の「Collaboration」、皆が一緒になって跳躍する「Consilience」の3つを加えるとCは6つに。Cは元素記号で炭素を表し、炭素が6つ結合すると、結合電子が共鳴するベンゼン環になります。中小企業支援は、単独で行うものではなく、チームワークが不可欠。6つのCを「共鳴」の象徴として、「協創」の原動力にしていきます。

この6つの「C」は都産技研だけでなく、中小企業の方々にもあてはまることだと思います。Communication(情報交換)やCollaboration(連携・協力)により、外部から必要なノウハウを取り入れ、新規事業にChallenge(挑戦)することで、新たなイノベーションを起こし、Change(変化・革新)する。言い換えれば、イノベーションを生み出すためには、すべてを自力・自前でやる必要はないということです。

自前主義から脱却し、自社にしかできないコア技術を磨きつつ、活用できるノウハウは、外部から取り入れて新たな技術や製品を創出する。そのために都産技研は、技術相談や依頼試験、機器利用、研究開発など技術面でのサポートを惜しみません。この技術との出会いの場を提供する「TIRI クロスミーティング」を通じ、都産技研を上手に活用して、イノベーションを起こしていただきたいと思います。

理事長 奥村次徳

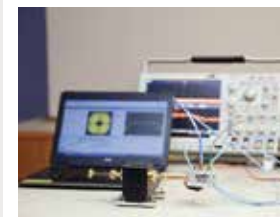


都産技研の主な支援メニュー

都産技研では、数多くの中小企業の製品開発や課題解決に依頼試験、機器利用、共同研究、オーダーメイド開発支援などをご活用いただいています。

研究開発

技術開発や製品化に向けた研究を行っています。企業や業界団体、大学などと協力し、共同研究も行っています。



技術相談

情報・電子、材料・化学、製造技術、環境・エネルギー、デザイン設計、製品化支援技術など幅広い分野の技術相談をお受けします(無料)。



依頼試験

お客さまのニーズにお応えして、試験、測定、分析等を実施します。結果に基づいて技術的なアドバイスも行います。



機器利用

さまざまな試験機器を利用して、お客さま自身で製品や材料等の試作、測定、分析を行うことができます。



技術セミナー・講習会

現場で活躍する産業人材育成のために、技術セミナーや実習を組み合わせた講習会を開催します。

オーダーメイド事業

お客さまの個別のニーズにお応えし、試験やセミナー、開発支援を行います。

産業交流

産学公金連携支援、異業種交流支援、技術研究会などを行っています。

情報発信

展示会出展、技術情報誌などの刊行物発行、見学などで事業や成果を発信しています。

TIRI クロスミーティング2018 参加申込書

氏名(ふりがな)

所属(社名・組織名等)

住所

〒

連絡先

E-mail

☐ 都産技研メール
ニュースの配信を
新たに希望する

TEL

FAX

個人情報の取り扱い ご登録の情報は、東京都立産業技術研究センターおよび「TIRI クロスミーティング2018」運営事務局(日刊工業新聞社)が適切に管理いたします。

参加を希望されるプログラムの□にチェックを入れてください。

同一時間帯に開催するプログラムは同時にお申し込みいただけません。

※口頭発表、見学会のみにご参加の場合は、事前予約不要です。直接お越しください。

■特別プログラム

7月12日(木)

- | | | | |
|--------------------------|-------------|-------------|--|
| ☐ | 10:00~11:30 | 基調講演 | 競争しない競争戦略~競争しないで利益率を上げる方法~ |
| ☐ | 13:00~13:40 | 特別発表 | 0円でつながるクラウド見積りネットワーク |
| ☐ | 13:40~14:20 | 特別発表 | ウェアラブルIoTによる高齢者の自立支援サービスの現状と今後 |
| ☐ | 14:30~15:30 | パネルディスカッション | 中小・ベンチャー企業目線のIoT導入~データ取得・可視化で他社と差をつける~ |
| ☐ | 口頭発表 | | |

7月13日(金)

- | | | | |
|--------------------------|-------------|------|---------------------------------|
| ☐ | 10:00~11:30 | 基調講演 | 日本発! 石から生まれた紙・プラスチックの代替となる新素材とは |
| ☐ | 13:00~13:40 | 特別発表 | 睡眠で企業の健康経営を支援する |
| ☐ | 口頭発表 | | |

■アンケート

■都産技研のご利用状況を教えてください。

- ☐
- 都産技研を仕事で利用している
- ☐
- 名前は知っていた
- ☐
- 今回初めて知った

■TIRI クロスミーティングを知った経緯(複数回答可)を教えてください。

- | | |
|---|--|
| ① ホームページ | ⑤ メールマガジン |
| ☐ 都産技研ホームページ | ☐ 都産技研メールニュース ☐ 日刊工業新聞 |
| ☐ その他のホームページ(具体的に) | ☐ その他のメールマガジン(具体的に) |
| ② チラシ・ポスター | ⑥ 人から聞いて |
| ☐ 都産技研への来所時 ☐ 展示会 ☐ 都産技研からの郵便物 | ☐ 都産技研職員から |
| ☐ その他(具体的に) | ☐ 知人・同僚などから |
| ③ ハガキ | ⑦ その他 |
| ☐ 都産技研からの案内ハガキ | ☐ その他(具体的に) |
| ④ 新聞・情報誌 | |
| ☐ 技術情報誌「TIRI NEWS」 | |
| ☐ 学会誌(具体的に) | |
| ☐ 広報誌(具体的に) | |
| ☐ その他(具体的に) | |

お問い合わせ先

「TIRI クロスミーティング2018」運営事務局
TEL 03-5644-7499 FAX 03-5644-7228
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1
sangiken@media.nikkan.co.jp
http://www.tosangiken-seika.jp/

